



日研究生E-だより 第13号

筑波大学 日本語・日本文化学類

2018年12月12日

修了生のみなさん、お元気ですか。2006年に『日研究生E-だより第1号』を発行して以来、今年第13号をお届けすることになりました。この13年の間に、本学類で受け入れた日研究生は150名にのぼります。そして今年の10月に新たに日研究生4名を迎えました。

《2017年度日本語・日本文化研修留学生の修了式》



後列左から:

- ・ツェツェ(モンゴル)
- ・アイン(ベトナム)
- ・アリ(モンゴル)
- ・ジュンカン(中国)
- ・エル(モンゴル)
- ・ジャン(韓国)
- ・ユウジ(ブラジル)
- ・シアンリー(カンボジア)

前列左から:

- ・ピアー(ブラジル)
- ・サーシャ(ロシア)
- ・パメラ(ブラジル)
- ・チャン(ベトナム)

2018年度日研究生の出身国は次の通りです。

出身国名	人数
スロベニア	1名
ブラジル	1名
ベトナム	1名
大韓民国	1名
計	4名



2018年9月27日 2018年度日研究生オリエンテーション



■ 2017年度担任の中込睦子先生と副担任の沼田善子先生からメッセージをいただきました！

中込睦子先生

2017年度日研生の皆さん、修了式でお見送りしてから2ヶ月がたちました。皆さんお変わりありませんか？皆さんの担任をしていた中込睦子です。

ちょうど1年前、皆さんが不安いっぱい筑波大学に来られた頃、実は私も不安いっぱいでした。私なんか担任がつとまるのだろうか、皆さんをちゃんとサポートできるのだろうか…。

でも、オリエンテーションで皆さんにお会いして、そんな心配は必要ないことがすぐにわかりました。第1回オリエンテーションのときから修了論文の相談や参考文献についての質問が出るほど勉強に意欲的で、わからないことがあればすぐに質問してくれたので担任としてとても助かりました。また、日研生同士で情報を共有してくれていたのも、誰かひとりに伝えれば確実に皆さんに情報が伝わるというのも本当に助かりました。「今年の日研生は皆さんオトナですなぁ（自分の行動に責任を持って、きちんと物事ができる人、という意味ですよ）！」と副担任の沼田先生とも良く話をしていました。

日本で過ごした1年間の間には、交通事故にあたり怪我をしたという方もいましたが、ともかく全員揃って修了式を迎えることができました。担任として本当にうれしく、頑張った皆さんのことを誇りに思います。

多くの方が留学中に筑波を飛び出し、群馬や大阪、広島、沖縄などいろいろなところを見てきたと聞いています。また日研生同士の交流を通じて、日本にいながらいろいろの国の文化を知ることもできましたよね。そのような経験のすべてを、今後の皆さんの学生生活や人生に是非生かしていただきたいと思っています。

この日本から、筑波から、皆さんのことを応援していますよ！！！！



沼田善子先生



みなさん、お元気でおすごしですか。副担任を務めた沼田善子です。

2017年度の日研生は総勢12名と、例年よりも多くの学生さんをお受け入れることになりました。そのため、私には幾分の戸惑いと緊張がありました。しかし、担任の中込先生のご指導のもと、みなさんは実に「大人」で、日ごろの授業にも、修了論文執筆にも大変熱心に取り組まれました。修了論文をまとめた「異文化との出会い」は力作ぞろいの充実した論文集になったと思います。

みなさんの中には、不幸にも交通事故で怪我をしてしまった人もいましたが、そうしたアクシデントを乗り越えて、十分な成果を上げられました。修了式と祝賀会に臨まれたみなさん全員の晴れやかな顔が思い出されます。

ご帰国後、それぞれの国での勉学が始まっていることと思います。どうぞ筑波大学での経験をさまざまな形で生かして、みなさんの今後につなげてください。

みなさんのご活躍を期待しています。



■ 2017年度日研生に聞きました！

今年9月に修了した日研生12名に次の質問をしたところ、9名の方からお返事をいただきましたのでご紹介します。

1. あなたが日本/筑波大学で一年間日研生として過ごした感想や、心に残る経験・思い出などについて教えてください。
2. あなたの帰国後の現在の様子を教えてください。（近況報告、帰国後に日本での生活を振り返って思うこと、など）

レ ティ ヴァン アイン さん (ベトナム出身、ハノイ国家大学外国語大学在籍) LE, Thi Van Anh

1. やっと夢が叶ったときのうれしさは、今でも思い出します。実はこの日研生プログラムへ参加したくて、日本語学習を始めました。3年間の努力がやっと実って、まるで桜のように咲き誇らせたと言っても過言ではないと思います。

1年間どうすれば有意義に過せるか、来日前に想定し、リストも作りました。サークル、ボランティア、旅行などは全部無事に達成できてほっとしました。それに、素晴らしい日研生たちとの日本での一年間の思い出がさらに私の人生の大事な1ページになったと思います。

いつもサポートしてくださった先生方、そして日研生の皆さんに伝えたい気持ちは一言では言い切れません。修了式のお礼の挨拶はなんだか物足りなさすぎて少し悔しかったです。授業の後の食事会、実習授業や帰り道でのちょっとしたおしゃべりと冗談、誰かのお誕生日パーティー、その後のカラオケ(元々カラオケが苦手な私をカラオケのファンに変えてしまいました!)、論文のストレスから救われた笑い声など、皆さんは私に大きな力を与えてくれました。その支えがあったからこそ、私は次々と自分が予定していたことを実現できました。

また、日本の学生の特徴として知られた「サークル活動」にも参加しました。合宿、キャンプ、企画、打ち上げなど、私の視野が広がった体験となりました。また、自然豊かな三重県熊野市で、異文化の人たちが集まるボランティア活動をさせてもらって、仕事をしながら充実した日々を送りました。

日本はいいこともあればよくないこともあります。その全てがいつも私を驚かせて感動させてくれました。日本で一緒に笑ったり泣いたりした人たちのことは一生忘れられません。そして、この1年間、日本のことを見たり触れたりしたことで、自分が知らなかった自分を発見して、無意識に作ってしまった限界を越えたような気がしました。

「日本にいる間、後悔したことがありますか?」と聞かれた時、「いや、もうこれ以上求めることはないよ!」と、感謝の気持ちであふれています!

2. 母国のベトナムでは最近秋を迎えて晴れの日と雨の日が繰り返していますが、つくばではたぶんイチョウの葉が金色に彩って素敵な光景になっているでしょうね。皆さんは元気に過ごされていますか。新しい日研生はどのように過ごしているのかな。新しい年が近づいて、新しい幸福がありますように。そして、近い将来、日本で出会った皆さんと再会できますように。



お馴染みの2G棟の向かい側にそびえたカエデの木



エンヘジャルガル ツェツェンゴー さん (モンゴル出身、モンゴル国立大学在籍) ENKHJARGAL, Tsetsengoo

1. 筑波大学に着いた時、夜遅くて周りが暗くなっていました。一ノ矢学生宿舎のバス停でバスから降りた時に、「あ～田舎に来たな!」と思いました。山の中にいたようでした。たくさんの大きな木々が風になびいていてちょっと怖かったです。しかし、どんどん新しい生活に慣れてきて、つくばが大好きになりました。大学生活もとても充実し、日研生のみんなとも仲良くなって、たくさんのいい思い出を作りました。日研生のみんなの誕生日を祝ったり、一緒に旅行したり、また論文を書いて同じ苦しみを味わったりして、全部がいい経験であり、大事な思い出でした。

筑波大学に留学できて本当によかったと思っています。人間的にも成長し、日本語も上達しました。先生方に感謝しています。みなさんはとても優しく、親切で、厳しい時もありますが、本当に感謝しています。本当にありがとうございました。

そうそう、忘れられない経験がありました。日本に来てまだそんなに時間が経っていない時に日本のゴキブリに「会いました!」心臓が止まるかと思いました。あんな大きいゴキブリがこの世の中にいるとはびっくりしました。これもまたあとで思い出すと楽しい思い出でした。



2. 私は現在大学の4年生です。卒論のテーマなどを考えながら、毎日忙しくしています。



ジム シアンリー さん (カンボジア出身、王立プノンペン大学在籍) YIM, Seangly



1. 筑波大学で一年間勉強することができて最高でした。日本へ留学することは日本語を勉強し始めてからずっと思っていました。日本は初めてではなかったが、初めて一人で日本へ行って心細かったです。しかし、この一年間、校内はもちろん校外でも優しい人たちばかりで心強かったです。校内では先生、日本人の友達、チューター、日研生ではない学生の友達の他に、とても仲がいい日研生の友人ができたことを一生忘れられません。校外では、筑波大学を紹介くださった先生、千葉県にいるホストファミリーに助けられたことも一生忘れられません。

この一年間、何よりも大変だったことは修了論文を執筆することでした。指導教員と論文チューターが頑張ってくれてくださり、他の日研生もよく励ましてくれたりして、勇気を出して前に進めることができました。その中で忘れられないエピソードがあります。それは、修了論文の中間発表会後のことでした。その日、私は急性胃腸炎になりました。夜に一人で部屋にいたので、とても怖かったです。高熱で体が震えるようになってから、一人ではどうしてもなくて日研生の友達にラインをしてしまいました。すると、夜なのにみんなが来てくれて病院まで連れて行ってくれました。その時の気持ちは言葉では表せないですが、とても嬉しくて涙が出ました。この『日研生 E-だより』を通して、皆さんに「ありがとう！」と伝えたいです。

2. 現在、私は王立プノンペン大学日本語学科の4年生として日本語教育を専攻しています。大学に通いながら、小さい大学で日本語教師として勤めています。子供の頃からずっと憧れていた職場で働くことができましたが、思ったよりも難しいです。でも、私は実際に日本で触れた日本文化をカンボジア人日本語学習者に伝えたいと思っているので、これからも更に頑張って日本語と日本文化を伝えていきたいと思えます。



総合日本語演習で見学したアクアワールド茨城県大洗水族館



イケジリ パメラ さん (ブラジル出身、サンパウロ大学在籍) IKEZILI, Pamela

1. 筑波大学に着いたときに、夜で大雨でした。チューターの青野初希さんのおかげで、バスターミナルから一の矢宿舍まで無事に着きました。一晩休んでから、翌日市役所と銀行の手続きを順調に行いました。来日したばかりなのに、頼れることのできる人がもうこんなにいるなんて想像もできませんでした。来日するまで心の中にあった不安は突然に消えたように感じました。

大学の授業が始まると、オリエンテーションがあり、中込先生が他の日研生を紹介してくれました。想像したよりも早く留学生の友達ができ、つくばで楽しい毎日を過ごしました。大学会館への道の秋の紅葉、筑波山の頂上の積雪、ひたち海浜公園で咲いたきれいな春の花、キラキラ光っている大洗サンビーチ海水浴場の海。まるで目の前にあるようにはっきりと覚えています。つくば、日本の美しい景色、友達と一緒に作った忘れられない思い出は心の中から一生離れないと思えます。

日本語で論文を執筆するのに対して不安だったが、指導教員の一二三朋子先生のおかげで、ブラジルで行っていた研究テーマへの理解が更に深められ、論文チューターの坂井香澄さんのおかげで、日本語能力を向上させることができました。このようなサポートがなければ、日本で豊かな経験ができないと思えます。





仲良くしてくれた生活チューターの皆さん

筑波大学と文部科学省からいただいた機会、そして大学で出会った素晴らしい人たちのおかげで、素晴らしい留学経験ができて、留学する前よりずっと日本が好きになりました。

2. 帰国してから2ヶ月くらい経ちました。日本から遅く帰ってきたため、ブラジルで大学の授業をまだ受けていませんが、来学期から通い始めます。この時間を使って、卒業論文を執筆しながら、来学期の準備をしているところです。

日本で過ごした時間を恋しく思っています。毎朝起きた時、壁に飾ってある日本の景色と友達と一緒に撮った写真を見ると、勉強する力になります。ブラジル人が日本文化と日本語が理解できるように、自分の知識を更に深めて、日本語の先生になりたいと思っています。その知識と留学生として経験したことを生徒と分け合うことが今の目標です。そのために、ブラジルの大学を卒業し、大学院生として日本にまた戻りたいと思っています。

語が理解できるように、自分の知識を更に深めて、日本語の先生になりたいと思っています。その知識と留学生として経験したことを生徒と分け合うことが今の目標です。そのために、ブラジルの大学を卒業し、大学院生として日本にまた戻りたいと思っています。



ツォグトサイハン エルヘバヤル さん (モンゴル出身、人文大学在籍) TSOGTSAIKHAN, Erkhbayar

1. 私はこの日研生プログラムに参加できたことで、色々な国の友達がたくさんできて、言葉で表せないほど楽しい一年間を過ごしました。また実際に日本の大学に通い、知識がたくさん増え、いい経験、いい勉強になりました。特に論文を書いたことが何より役に立ったと思います。まだ学部3年生の私にとっては、初めての論文でした。そこまで上手に書いた論文とは言えないですが、指導教員のご指導のもとで、自分なりに頑張ったと思います。



日本語の文献や図書などを読んで理解したり、論文を書いたりして、ものすごくいい勉強になりました。筑波大学で積んだ経験をこれからの卒論や院生活動に生かしていきたいと思っています。



日研生コースの集大成 論文集『異文化との出会い』

2. 私は現在、自分の在学している人文大学で4年生として学業を継続しています。来年の5月に卒業するので、今一生懸命に頑張っています。卒業後、母国で2年間就職してから、大学院生としてまた日本へ留学するつもりです。完全に決まった訳ではないですが、今のところはそう考えています。



チョウ ジュンカン さん (中国出身、大連大学在籍) ZHANG, Ronghan



1. 初めて海外での一人暮らしは、最初本当にすごく不安だったが、幸いたくさんの友達や先生がいつもそばにいてくれました。誰かがそばにいて、人は慰められることが本当に存在している、と日本で出会った皆さんが教えてくれました。そして、そんな人たちと友達になり、良い思い出をたくさん残せたのがまた幸せなことだとずっと思っています。



皆で誕生日をお祝い

人は一人にならない限り成長ができないと思い込んでいたが、どうやらこれは大間違いのようです。人は、他の人と接し、助け

合ってはじめて、成長を成し遂げるのかもしれませんが・・・留学生活を経て考え始めました。

日本では大変暑い夏を過ごしました。その時の蝉の鳴き声が今でも聞こえるような気がします。振り返ってみるとやはりあの夏が一番記憶に残ったと思います。私たち日研生は、木の葉の落ちる9月末に日本にやってきました、そして翌年、満天の消えてゆく花火とともに、前の年と変わらない夏の終わりの9月に帰国しました。このような時になっていることがロマンチックなのか、こういう考え方がロマンチックなのか、分かりませんが、私にとっては思い出の深い9月になりました。

2. 今、卒業論文を書いています。留学歴があるおかげかもしれませんが、こちらの先生が大学の交流課でのインターンシップを紹介してくれました。卒業する前、そこで少し仕事をする事になりそうです。将来、筑波大学の大学院に入れたらいいなあと思っています。



ブルガン アリウンズル さん (モンゴル出身、モンゴル国立大学在籍) BULGAN, Ariunzul



1. 筑波大学で受けた全部の授業は、持っている知識に基づいて、専門的な知識を増やすだけでなく、さらに研究をどうするか、論文をどう書くか、ちゃんと教えてくれました。先生たちもみんな優しく、色々と上手に教えてくれました。大変いい勉強になりました。

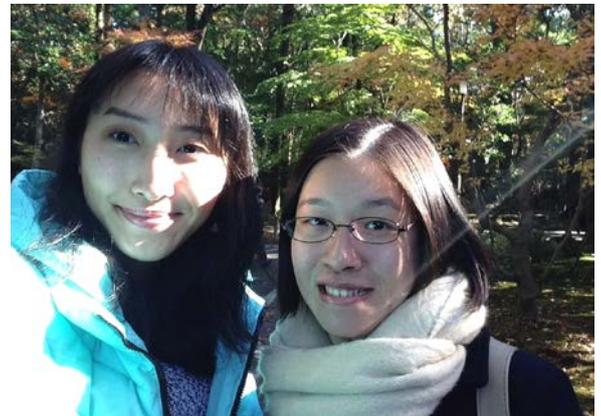
キャンパスは日本人でもびっくりするほど広かったです。キャンパスは、美しい自然に囲まれて、施設なども綺麗でした。1年間住んでいた一の矢学生宿舎から大学まで、自転車でも、バスでも、歩いても行けますので、途中での友達とのいい思い出がたくさんできました。

初めて筑波大学に来た時の感想です。学生たちは、みんなだいたい校内を自転車で走っています。私、日本へ来て初めて学んだことは自転車に乗ることでした。最初、自転車に一人で乗ろうとしたが、バランスが取れなくて、全然乗れなかったです。生活チューターの高田愛未さんが上手く教えてくれたので、どんどん乗れるようになりました。高田さんは、優しく、真面目できちんとした人でした。一緒に成田山を登った時や遊びに行ったこともとても面白かったです。それに色々話をしたり、教えてくれたり、手伝ってくれたりしました。

一の矢学生宿舎で初めての一人暮らしをしました。大変な時もあって、面白い事もたくさん起きました。日研生のみんなや他の短期留学生達といい友達になって、大事な思い出もいっぱい作りました。様々な国の学生たちと出会って、彼らと異文化について話す事も面白かったです。家族から離れて住んでいて、皆さんは、家族みたいに優しくしてくれて、感謝しています。

また、修了論文を書いたことも、大変良い経験になりました。その時に優しくしてくれて、大変お世話になった指導教員と論文チューターに深く感謝しております。

2. モンゴルへ帰国してから、面接を受けて、JICAのあるプロジェクトで3週間インターンをしました。現在、モンゴル国立大学で4年生として勉強しています。日本の大学に留学することは、私の中学生の頃からの夢でした。夢を叶えて、私が想像していたよりも、たくさんの思い出ができて、良い経験になりました。筑波大学で1年間留学したことが、将来の活躍に何らかの切っ掛けになればと思います。



チューターの高田愛未さん



シマダ ギレルメ ユウジ さん (ブラジル出身、サンパウロ大学在籍) SHIMADA, Guilherme Yuji



1. 日本に来たばかりの時、「今の日本語能力では全く足りないなあ。」と思いました。学期が始まって、日本語の授業に限らず、全ての授業によって日本語能力が向上しました。日常会話にも役に立って、次第に様々な話題ができるようになりました。授業だけでなく、日本の生活もとても楽しくなりました。研究は大変な反面、とても面白くて、いい勉強になりました。

色々な国の人たちと出会って、友達もたくさんできて、たくさんの新しい意見や文化を知って、様々な所にも旅行して、全てが大切な思い出、大切な勉強になったと思います。日本の文化や歴史についての知識も多く得ました。ブラジルに戻ってから、日本や日本人についてたくさ

ん教えることができるようになりました。そして、様々な開放的な性格の日本人と出会ったことで、持っていた日本人のステレオタイプを捨ててしまいました。

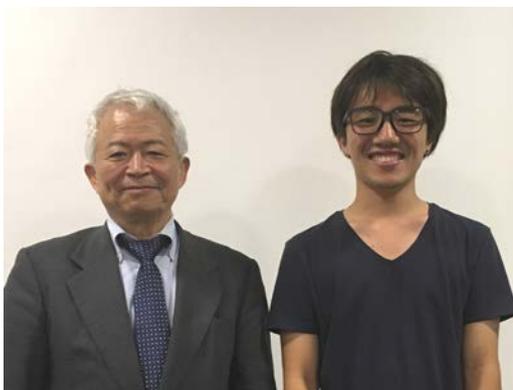
私は「自分の縁も、運も素晴らしくてありがたい。」と思っています。筑波大学の先生たち(特に担任の中込睦子先生と指導教員の谷口孝介先生)をはじめ、日研生関係者の皆さんは非常に優しく、今も大変感謝しております。日研生の友達も皆、それぞれのいいところも、あまり良くないところも全てひっくるめて、大好きです。皆さんの性格も、声も、笑顔も全てまだ心の中に残っています。筑波大学のブラジル人の友達もたくさんできて、とても良かったです。一緒にフットサルをしたり(フットサルのおかげでインドネシア人の友達もできました!）、時々一緒に遊びに行ったり、たくさん笑い話をしたりしました。大変な時にも支えてもらって、とても良かったです。

「縁」と言えば、天理市を旅行した時に久しぶりに友達と再会し、新しい友達もできました。天理教の月次祭に参れて、とても良かったです。また大阪に行って、サンパウロ大学に留学していた友達とも会えて、懐かしくてたくさん話をしました。そして、大阪に住んでいる3人の年上の友達を訪れて、様々な話をし、たくさんお世話になりました。16年間大阪に住んでいるお母さんのいところにも会いに行って、本当に良かったです。群馬県に住んでいる親戚とも初めて会って、親しくなって、スノーボードや富士山に連れて行ってもらって、たくさん話もできました。お正月に滋賀県に住んでいる友達と一緒に過ごして、シュラスコを食べて、楽しい話ができ、とても良い思い出になりました。その全ての思い出があふれ出すと言葉にできないほど、感謝の気持ちもあふれて止まりません。

13年前からずっと行きたかった沖縄が旅行できて素晴らしかったです。綺麗な景色、素敵な文化、明るい雰囲気が体験できて、とても良かったです。沖縄そばを食べながらオリオンビールを飲んだことも忘れられません。日本に来てくれた彼女と一緒に静岡県の下田市白浜、日光に行って、楽しく面白くて勉強になりました。その他、大阪・京都・神戸・奈良を旅行し、豊かな経験になりました。



とある飲み会の帰り・・・楽しかった(=^_^=)



日下部治特命教授と記念撮影

2. サンパウロ大学の学期の途中で戻ったため、勉強しないといけないことが多いです。日本の安全や生活の便利さが大好きだったため、時々「日本に戻りたいなあ。」とも思いますが、ブラジルでも一生懸命に頑張っています。

日本に留学しに行く人を増やしてほしいので、領事館関係者が開催した日研生プログラムについての発表会は、もう2回手伝わさせて頂きました。帰国してから、日本社会や日本文化に関するイベントにも参加しています。11月下旬に、ブラジルのサンパウロにある「日伯文化連盟・ピニエイロス文化センター」で、筑波大学の日下部治先生の講演会「遠くて近い国ブラジル」に参加しました。2020年の東京オリンピック・昔の日本からブラジルへの

移民・日本の visa の種類・日本に住んでいる外国人の生活・日本の大学の奨学金・皇位継承・自然災害についての発表を聞きました。

将来についてですが、卒業したら筑波大学に勉強しに戻りたいです。あるブラジル人作家の作品とある日本人作家の作品とを比較的に分析したいと思っています。まだ頭の中の計画ですが、卒業する前に決めたいと思います。



📷 ゴ ティ トゥ チャン さん (ベトナム出身、ハノイ大学在籍) NGO, Thi Thu Trang

1. 一年前に、文部科学省の奨学金をもらって筑波大学に留学できることを知らされた時には叫ぶほど嬉しかったです。初めて海外に勉強しに行くので、色々心配しながら飛行機に乗りました。筑波大学はどのような大学かなあ、勉強のこと、先生方、クラスメート達、近所の人々などについて、様々な心配があればたくさんのお楽しみもありました。

■ 思い出のワンショット

2017年9月27日 2017年度日研生オリエンテーション



2017年11月25日 日研生研修旅行



2017年11月25日 日研生研修旅行



修了論文を提出した後・・・ふ～ほっとしました ♪♪♪



2018年9月7日 2017年度日研生修了式・祝賀会







2018年12月12日

本学類の日研生プログラムは次の30年を歩み始めました。環境整備やコース内容改正を徐々に進めてまいります。その一環として、日研生実習室に大きなスクリーンが設置されました。これからも、たくさんの留学生と日本人学生の共修の場として活用されることが期待されます。

「日研生 E-だより」も第13号になりました。皆さんからのお便りをお待ちしております。

筑波大学 日本語・日本文化学類

HP <http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/>

Twitter @Nichinichi

Facebook <http://www.facebook.com/tsukuba.nichinichi>



日本語・日本文化学類長室

nichi2_office@un.tsukuba.ac.jp

※メールアドレスが変更になった際にはお知らせください。